

令和7年11月25日

各関係大学長  
各関係学部長 殿  
各関係機関長

国立大学法人琉球大学  
農学部長 内藤 重之  
(公印省略)

教員の公募(案)について(依頼)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本学農学部では下記の要領で教員を公募しておりましたが、公募期間を延長することになりました。

つきましては、貴機関の関係者へ周知方ご高配くださるようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 公募対象：農学部 亜熱帯生物資源科学科  
発酵・生命科学分野 教授 1名 (年俸制Ⅱ)
2. 専門分野：応用微生物学
3. 応募資格：
  - 1) 博士の学位を有する者
  - 2) 応用微生物学を専門とし、発酵微生物とゲノム編集に関する研究業績を有する者
  - 3) ゲノム編集に関する教育研究に熱意を持って取り組むことによって、沖縄の発酵産業に貢献できる者
  - 4) 学部において、微生物機能学、泡盛醸造学(分担)、泡盛醸造学実験(分担)、発酵・生命科学実験(分担)、外国文献講読Ⅰ・Ⅱ(分担)、食・農・環境概論(分担)、亜熱帯生物資源科学実験Ⅲ(分担)、亜熱帯生物資源科学総論(分担)、亜熱帯生物資源科学演習(分担)、発酵・生命科学演習、発酵・生命科学セミナーⅠ・Ⅱ、卒業論文Ⅰ・Ⅱ、情報科学演習(分担)、生物資源利用とサイエンス(分担)を担当できる者
  - 5) 大学院において微生物機能学特論、亜熱帯農学特論(分担)、農学研究の最前線(分担)、亜熱帯農学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、亜熱帯農学特別演習Ⅰ・Ⅱを担当できる者
  - 6) 10年以上の研究歴又は教育歴を有する者
  - 7) 鹿児島大学大学院連合農学研究科(博士後期課程)の主指導教員資格を得られる者(<https://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp/faculty-members/examination/>)
  - 8) 着任後、科学研究費助成事業を含む外部資金に代表者として応募する者
  - 9) 本学部並びに全学の取組に積極的に貢献する者

4. 提出書類：

- 1) 履歴書（別紙1参照）
- 2) 最終学校の卒業（修了）証明書
- 3) 学位授与証明書（学位記の写しでも可）
- 4) 学術研究業績集計表（別紙2参照）
- 5) 主要学術研究業績の概要と現在取り組んでいる研究テーマの概要（別紙3参照）
- 6) 学術研究業績一覧（別紙4参照）
  - ①業績リスト
  - ②全ての研究論文等の別刷又はその写し
- 7) 研究指導実績の概要（別紙5参照）
- 8) 教育活動実績の概要（別紙6参照）
- 9) 教育研究実績以外の実績概要（別紙7参照）
- 10) その他特記事項（別紙7参照）
- 11) 所見を求められる方2名の連絡先（別紙8参照）
- 12) 着任後の教育・研究に対する抱負（別紙9参照）

5. 応募期限：令和7年12月25日

6. 採用予定：令和8年4月1日以降の早い時期

7. 応募方法：

- 1) 上記提出書類のPDFファイル及び（別紙4）業績リスト（Ⅱ～Ⅳ）を整理したExcelファイルを一つのzipファイルにまとめ、JREC-IN Portal Webより提出してください。
- 2) 1)の（別紙4）業績リスト（Ⅱ～Ⅳ）を整理したExcelファイルについては、JREC-IN Portal Webの本求人公募ページの「添付書類」からExcelファイルをダウンロードして作成してください。
- 3) 提出書類6)②の研究論文の別刷りについては、ファイル名は業績リストに記載する番号（例えばⅡ-1、Ⅱ-2、…、Ⅲ-1、Ⅲ-2、…等）としてください。

※JREC-IN Portal Web 応募を利用した応募ができない場合や応募書類の容量が制限を超える場合は、琉球大学人事企画課任用係（[jnninyo@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:jnninyo@acs.u-ryukyu.ac.jp)）までご連絡ください。

8. 選考方法：応募者の提出書類について応募資格との照合を行うとともに、教育活動実績や研究指導実績の記述内容に基づいて教育・研究上の指導能力の評価を行います。さらに、書類選考通過者に対しては、面接（教育活動実績、研究指導実績、教育研究の抱負等のプレゼンテーションを含む）及び必要に応じて模擬授業により選考を行います。なお、面接等に要する交通費は支給しませんので予めご了承ください。

9. 問い合わせ先：

琉球大学農学部 亜熱帯生物資源科学科 発酵・生命科学分野  
教授 外山博英 TEL 098-895-8805  
E-mail [toyama@cs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:toyama@cs.u-ryukyu.ac.jp)

10. 待遇：

雇用形態：常勤（1日7時間45分、週5日勤務、裁量労働制選択可）

給 与：経歴によって算定（国立大学法人琉球大学年俸制（Ⅱ）適用教員給与規程による）

([https://education.joureikun.jp/u\\_ryukyu/act/frame/frame110000434.htm](https://education.joureikun.jp/u_ryukyu/act/frame/frame110000434.htm))

諸 手 当：通勤手当、住居手当等（国立大学法人琉球大学職員給与規程（千原事業場）による）

([https://education.joureikun.jp/u\\_ryukyu/act/frame/frame110000443.htm](https://education.joureikun.jp/u_ryukyu/act/frame/frame110000443.htm))

休 日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日～1月3日）、その他特に指定する日

福利厚生：文部科学省共済組合に加入

## 11. その他：

- 1) 琉球大学農学部は、「亜熱帯地域農学科」、「亜熱帯農林環境科学科」、「地域農業工学科」、「亜熱帯生物資源科学科」の4学科で構成されています。亜熱帯生物資源科学科は、「生物機能開発学分野」、「食品機能科学分野」、「発酵・生命科学分野」、「健康栄養科学分野」の4分野で構成されています。発酵・生命科学分野は、現在、教授2名（今回公募の1名を含まない）、准教授2名で学部及び大学院の教育・研究指導を行っています。
- 2) 琉球大学大学院農学研究科では、鹿児島大学大学院連合農学研究科（博士後期課程）の構成大学としても教育・研究指導を行っています。鹿児島大学大学院連合農学研究科については、公式サイト（<https://homeugs.agri.kagoshima-u.ac.jp>）をご覧ください。
- 3) 琉球大学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、選考過程で研究、教育管理運営等、職務遂行に必要とされる能力が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。また、教員選考にあたっては、出産・育児・介護等に従事した期間について配慮します。
- 4) 琉球大学の教員の定年は満65歳です。
- 5) 本学在職中は「国立大学法人琉球大学における業績評価に関する規則」に基づき、「1. 教育及び学生支援」、「2. 研究」、「3. 社会貢献」、「4. 管理運営」について業績評価の対象となります。
- 6) 提出書類に重大な虚偽があった場合や、採用時まで必要となる学位、資格等が取得できなかった場合は、採用を取り消す場合があります。
- 7) 琉球大学では、敷地内は全面禁煙としております。